

# “人むすびの場”をともに創りませんか？

★「むすび（産霊）」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。

★「人むすびの場」は、ご参加の皆さん全員が「場づくり人」として、思いと知恵を分かちあい、未来に向かう「対話と創発の場」です。2008年から毎月開催しています。

★私たち一人ひとりが一枚の布を織りあげるように、どこを織っているかは後でのお楽しみで、世の中と関わることで、未来社会を明るいものにできるよう希（ねが）います。

★2017年も心ある取組みの“今”をお伝えし、対話を通じて前進しましょう。  
皆さまのご参加を心からお待ちしています。

## 1. 第113回テーマ：「美術館に関わる人々をむすびたい

～新米美術館長の野望～

2. 日程：平成29年12月8日（金）午後7時～9時

3. 内容：☆ゲストスピーチ 神代 浩（かみよ・ひろし）さん  
＜東京国立近代美術館長、図書館海援隊隊長＞

(<http://www.momat.go.jp/ge/> [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/kaientai/1288450.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/kaientai/1288450.htm))

美術館に関わる人々をむすびたい。11月7日の図書館総合展で「図書館総合展で美術館を語る」というフォーラム(<https://www.libraryfair.jp/forum/2017/5897>)を開いて呼び掛けた、東京国立近代美術館長の神代浩さんの思いに、共感の輪が広がっています。

神代さんといえば、リーマンショック後の貧困・困窮者支援を図書館を通じて行った「図書館海援隊」の活動などで知られる、文部科学省の社会教育の分野でのキーマン。そんな神代さんが今年、美術館の館長に就任しました。美術館長としては自らを「新米」と言いながら、図書館などで培ったネットワークを生かして、美術館の抱える山積する課題を解決しようと、精力的な取り組みを展開。その1つが、図書館総合展での新たな試みです。

「課題の解決を探る方策の一つとして、図書館界には図書館総合展があります。しかし、美術館界では残念ながらこれに相当するイベントは今のところありません。美術館の世界でも、館種を越え、企業・NPO法人など美術館に関わるステークホルダーが幅広く集まって交流・意見交換する場ができれば、面白いと思いませんか？」と話す神代さん。新米館長さんと一緒に対話しながら、これからの美術館の役割やあり方を語り合ひましょう。

☆人むすびカフェ ファシリテーター：角田 知行さん

ワールド・カフェの手法を用いて、ゲストのお話から連想されるアイデアやお互いの想いを対話します。

4. 会場：EIJI PRESS Lab（渋谷区恵比寿南1-9-12 ピトレスクビル5F）

5. 参加費：1000円 ※終了後、軽く交流会を開催します。（実費2,000円）お申し込みは7日（木）まで。

お申込はHPまたはメールからどうぞ！

お名前、所属、電話、mailアドレス、懇親会参加をご明記ください。<http://www.terrestrial.co.jp/musubi/>

※記録写真の撮影とその活用をご了承ください。

株式会社テラ・コーポレーション内

“人むすびの場”づくり企画運営チーム：高重  
東京都文京区白山1丁目20番4号

ハウス白山ビル4階（〒113-0001）

TEL:03(3815)1981

Email:[info@terrestrial.co.jp](mailto:info@terrestrial.co.jp)

※お預かりした個人情報は本ご案内の他に利用しません

